



神戸学園都市 ワイズメンズクラブ



THE Y'S MENS CLUB OF KOBE GAKUENTOSHI
THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

2019年12月（通巻305号）

< 主題 >

- ・神戸学園都市クラブ会長：杉本隆人：「広げようワイズの和、令（秩序）をもって」
- ・国際会長：Jennifer Jones(オーストラリア)：「Building today for a better tomorrow」
- ・アジア太平洋地域会長：田中博之（日本）：「アクション！」
- ・西日本区理事：戸所岩雄（彦根シャトー）：「風となれ、ひかりとなれ」
- ・六甲部長：柏原佳子（芦屋）：「スピナーカーの帆に風を集めて」
- ・2019年12月強調活動：EMC-E YES：牧野篤文 ENC 事業主任（京都トップス）
「Eを行うためには、メンバー増強とクラブ内での中堅メンバー育成が重要。
YES 献金は新規クラブ設立資金です。」

12月第1例会

- ・日時：2019年12月7日（土）18:00～
- ・場所：西神戸YMCA
- ・内容：クリスマス会
クリスマス礼拝
祝会
ビンゴゲーム

< クリスマス 聖句 >

「わたしの魂は主を崇め、わたしの霊は
救い主である神を喜びたたえます。」

（ルカ福音書1章46節）

12月誕生者おめでとう

- ・丹家 元陽メン(12/4)

12月の出席状況

- ・在籍者 15名
- ・出席者 11名
- ・出席率 73%
- ・メネ/コメ 1名
- ・ゲスト/ビジタ 32名
- ・出席者合計 44名

12月累計ファンド成績

- ・ニコニコ 0円
- ・CS(年賀切手) 0円
- ・TOF(断食) 0円
- ・FF(家庭の断食) 0円
- ・BF(古切手) 0円
- ・東日本募金 0円
- ・Yサ・ASF 0円

[役員] 会長：杉本隆人、直前会長：田辺征一、書記：田辺征一、会計：中村 剛、連絡主事：達 直樹
[委員] 地域奉仕・環境：館忠之、森本哲男、Yサ・ユース：内田邦彦、交流：合田純二、ファンド：野呂隆
丹家元陽、EMC：野呂隆、広報・ブリテン：田辺征一、メネット：藤井久子、杉本裕子、メール委員：田辺征一、
[六甲部役員] メネット事業主査：藤井久子 [IBC]台湾高雄ポートクラブ（2004年1月締結）
[DBC]東京武蔵野多摩クラブ（2011年6月締結） [DBC]岡山クラブ（2018年6月締結）

神戸学園都市クラブ 〒651-2102 神戸市西区学園東町2-1-3 TEL 078-793-7402 FAX 078-793-7470
事務例会：第1木曜日、第1例会：第3木曜日、クラブホームページ

<http://www.kobeymca.org/ys/gakuen/bulletin.html>

<会長通信第五号>

会長 杉本隆人

人生には、3つ坂があるといわれていますが、一つは上り坂、一つは下り坂、そしてひとつが、「まさか」です。その「まさか」が私自身に起こりました。

11月のチャリティーランが終了して3日目の夜に緊急搬送されて、即入院となり、翌日に手術。いったい何が起こったのか？

この歳で、虫垂炎から腹膜炎となってしまいました。前日は、餅つきの筋肉痛かと思うような全身のだるさからスタートし、搬送される日の夕食は、ほとんど食べることもできなく、寝れば治ると思い、早めにベットにもぐり込みましたが、右脇腹に激痛がはしり、歩くのもままならない状態となりました。人生の中での「まさか」は、こうして起こりました。皆様もくれぐれも気をつけて「まさか」に備えることをお勧めします。

12月の例会は、西神戸YMCAとの共催のクリスマス会でしたが、無理をお願いして、わがクラブの新入会員の入会式を行うことができました。例年通りMCは、達ワイズ主導で行うことができましたがクリスマス会が盛況のうちにできたのは、彼の根回し（ビンゴゲームの景品作り）のお陰が大きいな～と感じるクリスマス会でした。

入会式のために柏原部長と上野書記がゲストとして来ていただき、新入会員を出迎えていただきました。ビンゴゲームでは、一番になり、ミリオンの縫ぐるみをゲットされ、大喜びされていました。これも人生のいい方での「まさか」だと思いました。

2020年は、大きな変わり目の時代でもありますが、このいい方の「まさか」が起るようなワイズ活動ができるように皆さまとともに楽しみましょう！

<12月事務例会報告>

- ・日時：2019年12月5日(木)19:00~20:30
- ・場所：西神戸YMCA
- ・出席者：内田、柴田、杉本、達、田辺、丹家、辻本、中村、仁科、野呂、森本、連絡主事代行 小寺

協議事項

- (1)12月クリスマス例会の進行と役割分担

15:30 料理・食糧買い出し（5名）

17:00 会場設営、準備

18:00 礼拝（メッセージ 丹羽和子牧師）

18:30 入会式（隠樹圭子ワイ）

18:45 祝会（MC：達）

19:30 ビンゴ大会

20:30 祝会終了

21:00 あと片づけ終了

(2)隠樹圭子ワイの入会式

六甲部より柏原部長、上野書記が出席
部長よりピンバッチ装着

(3)台湾高雄ポート20周年記念例会参加者募集

日時：2020年3月7日

前夜祭が6日にあるので、6日に到着

6日 前夜祭

7日 記念例会

8日 クラブ主催の観光 丸一日

9日 帰国もしくは、個別観光

クラブ行事だけで3泊4日、1日予備入れると4泊5日となる。現在5名が出席予定

(4)後期プログラム及び日程について

・1月事務例会：9日(木)

・1月新年例会：18日(土) 北京ダック料理

・三浦ワイズ奈良傳賞受賞記念祝賀会：

2月8日(土) 11:00~14:00

日帰りも可能であるが、出来れば1泊して翌日DBC交流会を持つ。

・SDGsのカードゲームから知る(2030年のゴールとは！)

(5)六甲部各クラブ例会案内と行事について(参加者)

・1月9日 YYYフォーラム委員会

・チャリティーラン実行委員会

12月17日19:00 内田ワイ出席

・宝塚クラブ クリスマス会 12月11日

・芦屋クラブ クリスマス会 12月23日

・神戸西クラブ クリスマス会 12月7日

(6)六甲部より依頼事項及び報告事項

・メネット事業申請の件 藤井主査

・グループメール閉鎖及び新規メール確保(この際、名簿を整理する)

・館ワイズ、神戸クラブに転籍の件

・阿部ワイズ 後期より功労会員として復活

(7)YMCAよりの報告

3ヶ月の研修を終えた 達 連絡主事から復帰の挨拶がなされた。

＜12月例会報告＞

料理・食糧の調達、会場設営とクラブ員の結束によりクリスマス例会を12月7日、六甲部長・書記の柏原・上野ワイズをお迎えして今年も西神戸YMCA会館で行うことができました。

礼拝では達ワイの司会のもと皆で賛美歌を歌い、丹羽和子牧師（神戸ポート）からメッセージをいただきました（4頁参照）。

会食に続き、恒例のビンゴゲームではズラッと並んだ景品に一喜一憂大いに盛り上がりました。



＜六甲部地域奉仕・環境事業講演会＞

11月16日（土）神戸YMCAでの講演会「地球温暖化対策、プラスチック海洋汚染を考える」に森本・田辺ワイズが参加しました。講師の竹谷輝男氏は兵庫県の「地球温暖化防止活動推進委員」として活躍されてこられ、直面する環境問題について熱く語られました。

プラスチックの歴史、種類、生産過程で入れられるさまざまな添加物の毒性、日本に於

けるプラスチックごみの処理状況、海上に浮かぶマイクロプラスチックの量と拡散実態、魚から人への影響など多岐にわたりました。

地球温暖化問題については二酸化炭素と大気の関係、温暖化を加速させている地球上の水蒸気の量、気温と海水温の上昇の危険性など、さまざまな環境変化の深刻さを話されました。

近未来の地球上の生き物や我々の命に係わるあまりにも大きな問題をつきつけられたひと時でした。（田辺征一）

＜新入会員自己紹介＞

隠樹圭子 メン （4月27日生）

この度「ワイズメンクラブ」にご縁賜り、仲間として皆様に温かく迎え入れて頂きました隠樹圭子（おきけいこ）です。1971年4月27日に生を受けた、生粋の神戸っ子です。東灘区の本山第一小学校から甲南女子に進み、大学は大阪芸術大学で舞台芸術を専攻しました。

若い頃は芸能界に身を置いた時期もありましたが、幼き頃に「大きくなったら養老院で仕事をしたい」との思いを叶えたいと、介護福祉の世界に転職して約20年になります。趣味は料理と銭湯めぐり、外食で美味しいものを頂いた後に、似た物をマネして作り楽しんでいます。喜びを感じる時は他者を笑顔にできた時、そして、思わぬ掘り出し物に出会った時です。安く入手した物を、高価な物と見て頂いた時は、とても喜びを感じます。

齢を重ねるにつれ、日々の生活から新しい出会いや交流の場、新たに他者と関わりを持つことは、だんだんと難しくなって参ります。私自身も多分に漏れず同様でした。そんな時を過ごしていた私に「餅つきの手人が足りないから手伝いに来て欲しい」と声を掛けて頂いたことが、今回、入会させて頂くきっかけでした。初めから、長い時を共に過ごした仲間のように接して下さったワイズメンクラブの皆様には感謝するばかりです。そんな諸先輩方の姿勢から、ワイズメンクラブの素晴らしさを感じたのは、言うまでもありません。



せん。また老若男女問わず、和気藹々と時を過ごされている皆様を見るにつれ、YMCA の存在価値の大きさや社会での必要性も、同時に強く感じています。

先にも述べましたように、ワイズメンクラブに加入させて頂くきっかけは「お餅つき」でした。

お餅のように切れそうで切れない、長く伸びるお付き合いを、末永く宜しくお願い致します。



柏原六甲部長からバッジ装着

「エーゲ海クルーズ紀行

ギリシャの休日 11 日間」(第 5 回)

9 月 20 日 (木)

AM7:00 クレタ島イラクリオン入港。バスで約 20 分。クノッソス宮殿跡へ。紀元前 26 世紀に始まったミノア文明の宮殿跡でギリシャ

神話によると、クレタ島のミノス王が、一度入ったら二度と出る事のできない迷宮を建て、ミノタウロスという牛頭人身の怪物を閉じこめていたという。詳しくは「地球の歩き方ギリシャ編」を御参照下さい。1900 年イギリスのアーサー・エヴァンスによって発掘され、広大な宮殿の中には色彩豊かな数々の壁画がある。特に「牛の上のアクロバット」「青い鳥」「パリジェンヌ」「百合の王子」が有名。女王の間にはイルカが描かれていて、浴室の隣には水洗トイレもあったという。そしてイラクリオン・タウンに戻り考古学博物館へ。ミノア文明の遺産のほとんどが収納されている。床のモザイクタイル、モザイク壁画、牛の頭、イルカの描かれた石棺等々。考古学大好き人間にはたまらない所でしょう。外に出た所のショップで「百合の王子」のレプリカを記念に。船に戻っての昼食はビュッフェで。魚のフライにはタルタルソースが、タンシチューもお代り。ビールとワインを伴に。メロンとスイカも甘くてさっぱりと美味。これがこの船最後の食事となる。

(丹家元陽)

<クリスマスメッセージ>

丹羽和子牧師 (神戸ポートクラブ)

「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。身分の低い、この主のはしためにも目を留めてくださったからです。今から後、いつの世の人でもわたしを幸いな者と言うでしょう。」

(ルカによる福音書 1章47-48節)

カナダで一人の中学生がピンク色のシャツを着て登校しましたが、彼は激しいいじめの対象になりました。しかし、多くの友人たちが一斉にピンクシャツを着てそのいじめに対抗しました。この運動がYMCAとワイズメンクラブが応援するピンクシャツデーの始まりです。

わが国では、みんなと同じにしないと不安を覚える傾向があります。SNSでメールを発信するときもある種のストレスを覚える若者は少なくありません。

マリアは結婚前に懐妊して世間の白いまなざしにさらされ、その状況は大変厳しいものがあったと思われます。しかし、マリアはそのわざをなされた神を賛美しています。金子みすずの詩にある「みんなちがって、みんないい」は人のわざでなく、神のなせるわざに立つことの大切さをも示していると言えます。

(文責：田辺征一)